



社会福祉法人 三富福社会 理事長 山梨県知的障害者支援協会会長

TEL:0553-39-2714 Fax:0553-39-2713

山西 孝



あいかわらず、障害福祉行政は目まぐるしく変化しています。ここにきて消費税の10%への引き上げが再度先延ばしとなり、社会保障費の財源の当てがなくなりました。

さて、三富福社会の未来は明るくなくては各サービスをご利用いただいている皆さんの未来を明るくすることはできません。わが法人の理念は「そのひとらしく生きることを支援する」です。逆境の中でも成長を続けていきます。10年後をイメージした法人の事業展開を以下の図にまとめました。

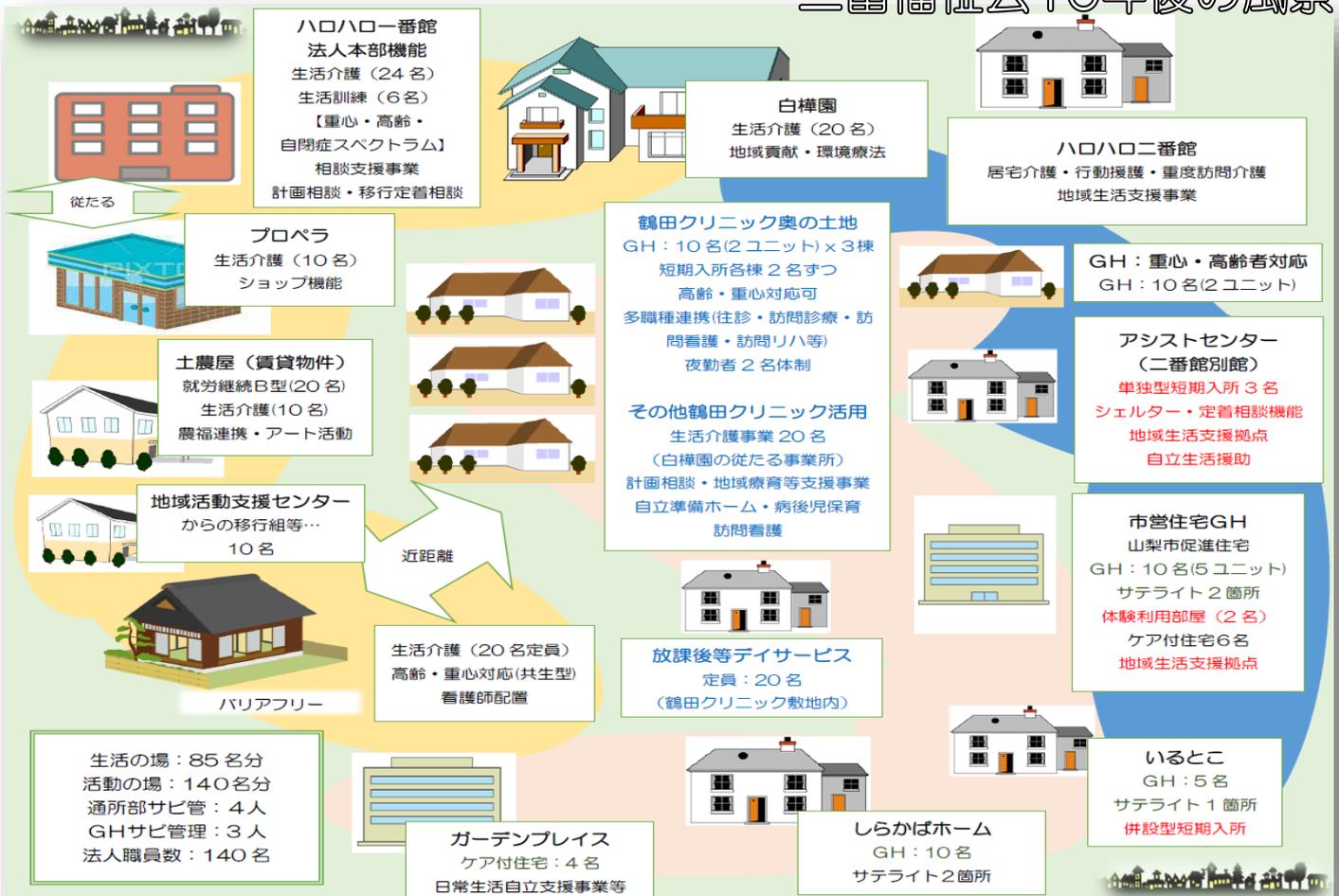
まず、入所施設の白樺園は10名のグループホーム3棟に移行します。定員が多いグループホームですので入所施設と同等以上の支援を提供します。場所は山から下りて街の中に暮らせるようにします。高齢者や支援が多くないと暮らしに困る人が中心となります。街の中であれば職員の確保も容易になるかもしれません。

グループホームは新たに市営住宅を活用した団地タイプを山梨市に開設します。また同時に一人暮らしにも対応できる部屋も用意します。それに重心や行動障害のある方向けのバリアフリーなグループホームを新築します。日中の活動場所も増やします。果樹農家との連携で農業と福祉のコラボレーションで地域に貢献できる障害者を目指します。また授産製品や農作物を販売するショップ型活動場所を開店します。できればちょっとした飲み物や食べ物も販売します。うどん屋になるのかコーヒーショップになるのかは未定です。

白樺園跡地は自然環境を生かした日中活動の場に使います。俗世界から逃避するにはもってこいの場所になるかもしれません。

まだまだ実現すべき夢はありますが、希望ある未来を創る社会福祉法人となるように努めます。

三富福社会10年後の風景





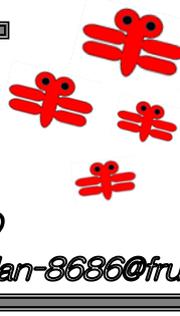
服部 敏寛

地域支援・相談支援部門 ハロハロ相談支援部「からりと」

T:0553-34-9202 携帯仕事を個々所持(転送無)

携帯電話: 090-7238-0444

E-mail:soudan-8686@fruits.jp



障害福祉制度の今後の動向

「峡東3市で地域生活支援拠点の整備を・・・」

「地域生活支援拠点等（地域生活支援拠点又は面的な体制）について、平成29年度までに各市町村又は各圏域に少なくとも一つを整備することを基本とする」 推進協議会第1回専門部会H26.7.22 資料12より抜粋

障害児が生まれ育った地域で安心安全に生活し続けていく為、また、精神病院や入所施設に長く社会的入院、入所している方々が、地域生活移行していく為には課題がまだまだ沢山あります（地域間格差も・・・）

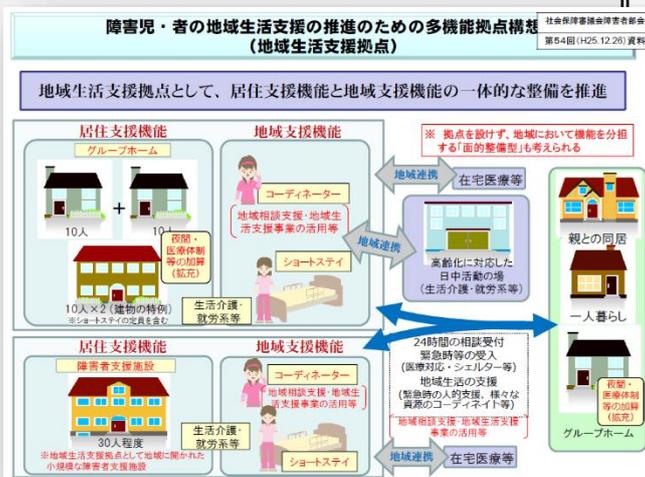
～アンケート調査から上がってきた障害者の地域生活を支えるために必要な支援・資源～

- 地域での暮らしの安心感の担保
- 親元からの自立を希望する者に対する支援
- 施設・病院等からの退所・退院等、地域移行の推進
- 医療的ケア、行動障害支援等、専門的な対応を必要とする者への支援
- 医療との連携等、地域資源の活用
- 夜間も利用可能なサービス、緊急対応体制
- 障害特性に応じた施設整備

上記はどこの地域でも共通の課題ではありますが、しかし地域ごとに必要なサービスや社会資源に違いがあるため、地域特性にあった形で、これらのニーズに対応できる拠点を作る事を国から求められたこととなります。

それを受ける形で、峡東3市は協働で面的整備（拠点となる施設一つで様々な機能を一手に背負う形ではなく、社会資源同士が連携し、必要なサービスを整備する）を行なうという障害福祉計画を立てました。今年度はこれを具体化するために、3市による話し合いが行なわれていくこととなります。

出来上がったシステムにより、地域での住みやすさ（地域間格差）がますます広がる恐れもあります。今後も最新の情報を提供していきます。



障害者総合支援法等の一部を改正する法案の概要

- ▶施設やグループホームを利用していた人を対象とする定期巡回・随時対応サービス（自立生活援助）を創設する
- ▶一般就労に伴う生活面の課題に対応するため、事業所・家族との連絡調整をするサービス（就労定着支援）を創設する
- ▶重度訪問介護は医療機関への入院時も一定の支援を可能とする
- ▶低所得の高齢障害者が介護保険を利用する際の負担を減らす
- ▶外出困難な障害児の居宅を訪問して発達支援するサービス（居宅訪問型児童発達支援）を創設する
- ▶発達支援をする保育所等訪問支援は乳児院・児童養護施設の障害児も対象とする
- ▶都道府県・市町村の障害児福祉計画の策定を義務化する
- ▶医療的ケアを要する障害児につき、自治体に保健・医療・福祉連携を促す（公布日に施行）
- ▶障害児の利用する補装具について貸与を認める
- ▶サービス事業所の事業内容を公表する制度を創設する（都道府県）

新たな相談支援専門員の紹介

氏名：坂本 英子

特技：横四方固め・袈裟固め
一言：国中は初めてで、土地勘が全く無いので、場所を覚えることから頑張ります！



山梨市自立支援協議会への協働計画

- ①平成29年度から予定している山梨市基幹型相談支援センターの立ち上げ準備
- ②山梨市の定住促進住宅のGHとしての活用について話を進めていく（GHの規模や、促進住宅の世帯条件の撤廃、地域生活支援拠点：体験利用としての活用等々・・・）
- ③山梨市の地域活動支援センターの今後の在り方検討（5年後、10年後に利用者さんが困らないように・・・）





吉村 純

山梨県相談支援体制整備事業

峡東圏域マネージャー 吉村 純

携帯電話：090-4740-3216

E-mail: jun-yoshimura0218@fruits.jp



お世話になっております。峡東圏域マネージャーの吉村です。
今年の4月より「障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）」が施行されました。この法律の目的には「障害を理由とする差別の解消を推進し、もってすべての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現をめざすものとする」と記されております。

またこの法律の「差別」の取り扱いとして、不当な差別的取扱い（障害者に対して、正当な理由なく、障害を理由として、財・サービスや各種機会の提供を拒否する又は提供に当たって場所・時間帯などを制限する等）や合理的な配慮の不提供（障害者から現に社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合において、その実施に伴う負担が過重でないときは、障害者の権利利益を侵害することとならないよう、社会的障壁の除去の実施について、必要かつ合理的な配慮をしなければならないが、それをしないこと。）があります。

山梨県でも法律施行に伴って条例（山梨県障害者幸住条例）の改正など行い、障害者の差別を解消する体制として障害者差別地域相談員を各市に配置、実際、障害当事者の方やご家族が差別的事案に遭遇した場合、助言や必要に応じて関係者間の調整も行う体制も整えていきます。また、山梨県でも障害者差別解消推進員を配置し、行政間のネットワークの構築を創り上げる準備をしております。

まだまだ普及・啓発が必要なこの障害者差別解消法ですが、圏域でも学びや意見交換の場として「権利擁護について考える座談会」等の開催など行います。追って連絡させていただきますので、お時間があればぜひ参加していただければと思います。

※「権利擁護について考える座談会」は7月～9月上旬各市単位で開催していく予定です



小林 美晴

山梨県地域療育等支援事業

療育コーディネーター 小林美晴

携帯電話：090-1053-0841

E-mail: hand-to-hand@fruits.jp



山梨市と甲州市で暮らしている障がいのあるお子さんやそのご家族が安心して暮らし続けるため、相談支援や情報提供、関係機関との調整、研修会の実施等を行っています。

★【みんなで語り合おう】：障がいのあるお子さんのご家族が集まり、お子さんの事、生活の事、気になる事をママ同士で話してみませんか？ ～みんなで話す事でストレス発散をしましょう～

参加要件はありません。障害種別・診断の有無等関係なく、興味のある方はどなたでも自由に参加して頂けます。お友達を誘い合わせの参加やご兄弟など小さいお子さんを連れての参加も大歓迎です（時間の途中から参加したり、途中で帰ったりする事も可能です）



開催日時（毎月第二月曜日 am10:00～）：7月11日(月) 8月8日(月)

9月12日(月) 10月10日(月) 11月14日(月) 12月12日(月)

平成29年1月9日(月) 2月13日(月) 3月13日(月)

☆【研修会】：今年度は峡東圏域で5月にミュージックケア（新海先生） ・8月理学療法（高村先生） ・10月にポーター（若杉先生） ・11月にミュージックケア（新海先生）等… 保護者さん、保育士さん、学校の先生、興味がある方、誰でも気軽に参加して下さい（問い合わせ等、お気軽にお電話下さい）

◆【その他】：音楽療法＆相談会 ・言語療法＆相談会 ・保育所、園、幼稚園訪問等…様々な事業を行っています。いつでもだれでもご相談下さい。お電話お待ちしております👇（・・）👇



中込 学

地域支援・通所部門情報

サポートセンターハロハロ番館通所

TEL:0553-34-9200 携帯:090-1053-0792



通所部活動報告【activity report】

日頃から当法人の各事業所に多大なご協力を頂き誠にありがとうございます。サポートセンターハロハロ番館(生活介護事業所) & ワーキングベースプロペラ(生活介護事業所)の管理者の中込です。平成28年度がスタートしてはや2か月、今年度も昨年度に引き続きメンバーさんが様々な形で社会に参加できるように職員一同、邁進していきたいと考えております。今後ご支援のほど、よろしくお願い致します。

「4月29日・地域交流会が開催されました」

4月29日に一番館・プロペラ合同の地域交流会が甲州市勝沼町の市民体育館にて行われました。今年度のイベント開催の目的として「地域の方々や地域の学生の皆様との交流を図る」というものを掲げており、それに則り開催しました。

今回は、山梨学院大学附属高等学校のチアリーディング部のみなさんとジョイソーラン(代表：楠様)をお招きしての開催となりました。

当日は快晴に恵まれ、とても盛り上がるひと時を送ることができスタッフ一同、とても感激しました。お忙しい中、誠にありがとうございました。



障害者の社会参加(share)基本として日頃の活動プログラムをたて支援している中で、今回のイベントは障害者自身が地域の方々や学生の皆様と交流できたことは勿論ではありますが、舞台を飾っているアート作品の数々が素晴らしくイベントを盛り上げてくれました。

この作品たちは一番館で日頃から行っているアート活動で生み出された作品です。一つ一つが個体として展示する機会は数多くありましたが、メンバーさんの作品が一丸となってアート作品として展示される機会はなく圧巻でした。

メンバーさんご自身の日頃の活動・作業の成果を発表し、その空間で称賛・感動し合うことのすばらしさを改めて実感させられた一時であったと思います。

これからもイベントの度にスタッフ・メンバー一丸となって良い時間と空間を作っていきたいと思います。(イベント担当：穂山・坂本)

【音楽療法】

毎週月曜日の丸1日を使い、音楽療法士の平境絵美職員が中心となって音楽療法を行っております。

音楽療法でははじめに、近況報告や季節のことを話しながら、ご本人たちのところを温かいものにしていく過程をふみます。

その後は、固定化したメニューはなく、ご本人たちがご自身の言葉や表情など様々なコミュニケーションを使って歌いたい曲・聴きたい曲をリクエストしております。

平境職員の伴奏のもとトーンチャイム・カホン・ジャンベ・ブネギターなどを好きなように奏でながら賑やかな、そして心温まる時間が流れます。

音楽療法を継続的に行うことにより、メンバーさん夫々の自発性を培うことができきております。また様々な楽器を使用することは頭と身体を使用することであり、ご本人たち夫々の機能の維持・向上に役立っているのではないかと考えております。今後もメンバーの皆さんとともに目いっぱい「音を楽しむ時間」を作っていきます!!!



H28年度事業計画【Impact Goal】

平成28年度・サポートセンターハロハロ一番館事業(生活介護事業)計画

【基本指針】

三富福祉会の理念である「その人らしく生きることを支援する」に沿って職員・メンバー相互の『共生』・『共働』を意識します。その上で社会での役割(Share)・居場所を一緒に創造していきます。

【定員】：20名

【活動内容】

重症心身障害者支援・音楽活動(音楽療法)・アート活動を中心として各メンバーさん夫々のニーズやストレンクスに着目した上で個別支援計画を作成し、その支援計画に則り活動プログラムを組み立てていきます。またメンバー個々の社会での役割を意識して活動提供を行い支援していきます。



土屋 博

地域支援・通所部門情報 Working・Base・プロペラ

TEL:0553-39-8307 携帯:080-8735-3258



H27年度活動報告【activity report】

オリジナル商品について、ちょっと紹介させていただきます。現在のオリジナル商品ラインナップはステーションナリーグッズが中心です。一番館で行っているアート活動での作品とプロペラで行っている和紙作業のコラボ商品です。おかげ様で各種イベントでの販売や個人的にファンになってくれている方も徐々に増えてきております。これからもメンバーさんの間接的な社会参加として色々な場所でこのグッズが活躍してくれることも祈っています。今後ともよろしくお願ひ致します。(担当：穂山)



【ドレミステップレポート】

一番館とプロペラのメンバーさん合同で行っているダンスユニットです。スタッフの平墳 絵美と平塚 美雪を専属で配置し週に一度、レッスンをしております。

今年度、最初のお仕事は甲府市にある、きぼうの家様(障害者支援施設)の第20回春祭りにお招きいただきました。春の日差しがこうこうと照り付ける中、6曲の演目を踊りました。きぼうの家の利用者さん、スタッフの方々と共に踊って歌って、とても良い一時を送ることができました。

今後も様々な場所で活躍できたら嬉しく思っております。もし、そのような機会がありましたらお声をかけていただきたく思います。(ダンス担当：平墳)





土農屋(どのうや)

(地域おこし・農福連携事業部)



土農屋は職員3名と一番館、プロペラメンバーさん合同の10名で日々、農作業を行っております。

基本的には山梨市市川地区及び牧丘地区の耕作放棄地及び農家を営んでいる方の後継者不足や高齢者といった課題に対してお手伝いをさせていただいております。山梨県としても今後、県の果樹農家や耕作放棄地への課題には積極的に取り組んでいく様子です。我々も、その手助けが少しでもできるように一生懸命行っていきたく思っております。今後は「三富福祉会・土農屋」に注目してください!!!

※使用していないトラクターがありましたらプロペラ(担当:土屋)までご連絡いただきたく思います。

(畑の規模が大きくなりすぎてまして…^^):



H28年度事業計画【Impact Goal】



平成28年度・ワーキングベースプロペラ(生活介護)事業計画

【基本指針】

三富福祉会の理念である「その人らしく生きることを支援する」に沿って職員・メンバー相互の『共生』・『共働』を意識します。その上で社会での役割(Share)・居場所を一緒に創造していきます。

【定員】: 20名

【活動内容】

農作業(農福連携等)・オリジナル商品作成・販売広報活動等を中心として各メンバーさん夫々のニーズやストレングスに着目した上で個別支援計画を作成し、その支援計画に則り活動プログラムを組み立てていきます。

またメンバー個々の社会での役割を意識して活動提供を行い支援していきます。



齊藤 実

地域支援・余暇&生活支援部門

サポートセンターハロハロ二番館

TEL:0553-23-0346 携帯:090-5327-3626



H27年度活動報告【activity report】

ハロハロ二番館ではこれまで単独型の短期入所は“休止”とさせて頂いていましたが昨年やっと事業再開にこぎつけることが出来ました。消防法等との関係でしばらくお休みをしていましたがこれまでのハロハロ二番館に戻る事が出来ました。短期の建物は二番館とは道を挟んだ場所にある建物で再開です。新築の建物で短期入所をするにはうってつけの建物なのです。利用者さんには喜んでもらえていると思います。利用者さんやそのご家族の為に微力ながら貢献できるものと思います ー齊藤ー



休止させて頂いていたハロハロ二番館での単独型短期入所が“再スタート”しています(定員3名!)。しかしながら二番館の体力不足の為に連泊や定期的な利用は難しい状況です。(まずは相談を…)

以前のハロハロ二番館の単独型短期入所は家庭的な雰囲気、常日頃から接している二番館スタッフが担当して宿泊支援にあたるので安心感があると好評でした。以前よりさらに充実した短期入所を目指し、身支度や炊事洗濯等の自立に向けた活動やお楽しみの活動等、個々のニーズに丁寧に対応できる様に努めて行きたいと思います ー渡辺ー

正規職員・支援スタッフ・登録ヘルパー・アルバイト募集!

社会福祉法人三富福祉会では只今職員を募集しています!!



募集職種は 放課後等デイサービス支援員(正規職員若干名+パートスタッフ)
子ども達と一緒に楽しい時間を過ごしませんか?

生活支援員(白樺園・ハロハロ一番館)
相談支援専門員(ハロハロ一番館)

ホームヘルパー(ハロハロ二番館)
世話人(いるとこ・しらかばホーム)



- *雇用形態: 要相談(正規雇用・パート雇用) *夜勤が可能な女性急募
- *選考方法: 面接+α(実習等)

東山梨圏域に創り上げたい風景を実現させる為には夢を共有していただける人材が必要です

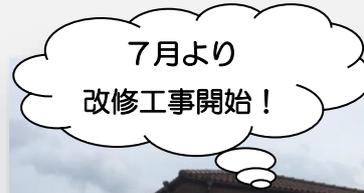
自薦・他薦は問いません 連絡お待ちしております(詳細はホームページもご覧下さい)

放課後等デイサービスの立ち上げ！！



甲州市塩山の鶴田クリニックの鶴田先生と話し合い、今年の10月を目標に放課後等デイサービス「ハロハロキッズ」を立ち上げる事となりました。

場所は鶴田クリニックの敷地内の一軒家を改築して行ないます（山梨県甲州市塩山三日市場 1965）



【基本方針】

- ・生まれ育った地域で健康的に生活し続けられるよう、東山梨圏域のお子さんを中心に、障がい種別を問わず、ご家庭と学校以外の第3の場を創ります
- ・お子さんの最善の利益を考え、相談支援事業所、他の障害福祉サービスとも密に連携して多様なニーズに対応します
- ・家族の想いを受け止め、決して地域で孤立する事が無いように、多職種で連携して応援します
- ・意思決定の礎となる、良質な経験・体験（失敗体験も）を積み重ねる事ができ、お子さんが心からリラックスできる空間創りに努めます

また、鶴田先生の社会貢献のために建物を使用したいという想いと三富福祉会の想いをコラボレーションさせていただき、鶴田クリニックの本体建物でも、今後地域ニーズに即した事業展開が出来ればと考えております。またご報告させていただきます。

「放課後等デイサービス

“ハロハロキッズ”

立ち上げ説明会開催」

8月に放課後等デイサービスの立ち上げ説明会を予定しています。日程が決まりましたら対象となりそうな現在のハロハロ登録者、東山梨圏域の特別支援学級、甲州市、山梨市の特別支援学校に連絡させていただきます



放課後等デイサービス 立ち上げプロジェクトチーム紹介！

～ゆかいな仲間たち～

- チーム隊長：齋藤 実（二番館所長）
- 参謀長：岡田 直（企画管理部長）
- 隊員 ①：服部 敏寛（相談支援）
- 隊員 ②：山本 敦子（二番館）
- 隊員 ③：篠田梨恵子（相談支援・GH）
- 隊員 ④：小林 美晴（療育CO）
- 隊員 ⑤：小田切律子（相談支援）

ゆずってください！ 放課後等デイサービス



放課後等デイサービスを開始するに当たり、ハロハロでは以下の物品を求めています！

- *絵本・図鑑・コミック・ブロック・積み木
- *アニメ等のDVD 音楽CD バランスボール
- *座卓、クッション、ソファ（頑丈なもの汗）
- *雑巾・タオル・プラレール・CDラジカセ

連絡先：ハロハロ二番館 山本敦子 or 齋藤実まで



篠田梨恵子

地域支援・生活支援部門[CH・GH] しらかばホーム&いるとこ

TEL:0553-32-3745(☎) 0553-23-3608(☎)



H27年度活動報告【activity report】

【いるとこ併設型短期入所】

表紙で紹介させていただいたように、現在いるとこで本人会メンバーを中心にGH宿泊体験を定期的に行なっています。最初は居住者も体験者も慣れずにどきまぎする事も有りましたが、現在ではお互いが楽しめるようになっています

【しらかばホーム：サテライト型ホーム設置】

しらかばホームの裏のアパートにサテライト部屋を設置しました。現在1人暮らしに向けて一人の女性が頑張っている生活しています。目指せ一年後の1人暮らし実現！

【白樺園からの地域生活移行】

昨年度に3人の宿泊体験を実施し、1人の方がGHに生活移行しました。今後も宿泊体験を通して、どのような支援体制を組み立てれば地域生活移行が出来るかを、スタッフ一同考えていきます

H28年度事業計画【Impact Goal】

【いるとこ一部屋増設】

いるとこの空き部屋を居室化して一部屋増やす事を計画しています。ニーズに対して居住の場がまだまだ足りません。小規模では有りますが集団生活ですので、相性の問題が必ず存在しています。利用者さんが主体的に選択できるように、サテライト型の更なる設置も視野に入れ、居室の確保に今後も努めます。

【山梨市の市営住宅のGH化！:来年度に向けて】

「空き部屋が多数ある市営住宅をグループホームとして活動する事が出来ないか」この事案について、昨年度から山梨市自立支援協議会運営会議で話し合いを行なってきました。山梨市の市長の理解を得ることができたとの事で(TV放送されました)、これから詳細をつめていく事に…。

秋頃の広報に載るとの事ですので乞うご期待！！



平井健太郎

アシストセンターの視点から…私達にできること

生活支援員6年生の平井です。昨年は通所メンバーさんの無尽蔵・地域宿泊体験・GHメンバーさんの余暇を重点的に支援してきました。今年も人が生活を営む上で家・職場・余暇の相互作用と関係性が密接である事に着目したいと思います。僕にとって当たり前存在する余暇をメンバーさんにももっと



体験してもらい「毎日が楽しいから課題がクリアできた」を目指す！「毎日が楽しい」の第一歩として余暇を充実(買い物に行き、友達と遊ぶ、カラオケに行く…)させ共に笑う。もう一つ、社会との繋がりを形にしていきたいと思います。社会的な役割を担う事が自信に繋がり、社会に知ってもらえる機会を作る事に注力していきたいと思っています。その為にも地域で暮らせる方法、地域で働く方法を入所・通所メンバーさんと一緒に考えていきたいと思っています。GH・本人会(通所)・入所のメンバーさんと自分らしく生きていく手段を考えていきます。利用者、養護者のあったら良いなを一つでも多く作り、共に生きる！今、目の前に無いサービスを共に創っていけたらと思います(住むところ、遊ぶところ、方法、手段)。



山本 昭仁

地域支援・短期入所部門[白樺園]

緊急時のシェルター機能

TEL:0553-39-2714 Fax:0553-39-2713

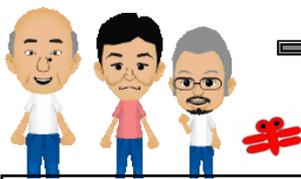


28年度の白樺園短期入所状況について

ハロハロ二番館から白樺園に越してきてあと少しで3年となります。今の時期、白樺園は市街地に比べ涼しくとても過ごしやすいです・・・たまに明け方寒すぎる事もありますが((+_+))

さて、改めまして日頃より白樺園の短期入所をご利用いただき誠にありがとうございます。白樺園は、引き続き定員10名という規模で短期入所サービスを提供しております。10名という比較的多い定員ですが、「生活の場」の地域ニーズは多く、結果として皆さまにも利用制限をせざるを得ない状況が続いています。改めて、ご理解頂きますようお願い致します。

今後も地域の利用者様が安心して生活できる為にも「地域のシェルター機能」の役割を十分に果たせるように職員一同努力してまいりますので、何卒よろしくお願い致します。



『社会福祉法人にイノベーションは起こせるのか』

2016年の年明け、園長が、今年は、イノベーションをテーマにして取り組んでいきたいとの挨拶をした。イノベーションという言葉は聞いたことはあったが、どのようなものなのか知らなかった私は、ハーバード・ビジネス・スクールのクレイトン・クリステンセン教授の著書を数冊買いこみ勉強を始めた。

イノベーションとは、経営学分野における経営革新の実践のための思想であると私は、理解した。

実際、クリステンセン教授は、18世紀頃からの様々な企業の活動を詳細に調査・研究し、どのような効用があったのかをデータ化し検証したうえで、イノベーションを定義類型化し、企業経営の現場で実践できるようプログラム化している。

教授は、イノベーションには、持続的イノベーションと破壊的イノベーションがあるとしている。

持続的イノベーションとは、今ある経営資源をバージョンアップし、顧客の需要をさらに高めていくための革新としている。例をあげると、パソコンのハードディスク製造業界での記録密度の向上がそれにあたるものとされる。

それに対して、破壊的イノベーションとは、これまで需要の無かったところに新たな需要を生み出すための技術革新としている。例をあげると、同じくハードディスク製造業界でのハードディスクの小型化である。これは、記憶容量の削減を意味していて、通常では採用しがたい考え方であるが、この取り組みが、パソコン市場を大きく変えることになったことは、携帯端末などが主流となっている現状を見ると頷いていただけるのではないだろうか。

では、こうしたイノベーションの考え方を社会福祉事業、特に、三富福祉会の事業にあてはめるとどのようになるであろうか。

私としては、持続的イノベーションに位置づけられるものは、生活介護事業のバージョンアップではないかと考える。

それに対して、破壊的イノベーションにあたるものは、相談支援事業での本来あるべき形でのソーシャルワーク部門の確立・強化であると考えます。

私なりの稚拙な考えを述べさせていただいたが、みなさんは、いかがお考えになるでしょうか？



編集後記

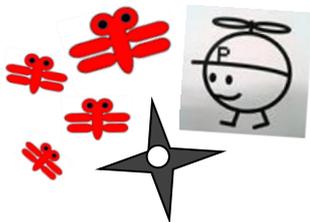
ずいぶん久しぶりになってしまいましたが、平成28年度第1号を出す事ができました。今年度からは必ず四半期に一回発行します…つもりです…きっと…(今年度法人内に新たに広報部が出来たので乞うご期待)

昨年度から、日本知的障害者福祉協会の“意思決定支援の在り方に関する特別委員会”に参加させていただいています。川島志保弁護士や小沢温先生の話をも身近に聞くことができとても勉強になりました。どんなに障がいが高くても必ず意思はあるんだ…私達の使命は彼ら、彼女らの非言語メッセージを五感全てを使用して汲み取っていくこと…意思決定を支援するためには意思の形成を支援しなければ…そのためには意思を形成する時の礎となる良質な経験を積み重ねる事が重要となってくる…成功体験も失敗体験も…。特性に配慮した適切な情報提供も重要…伝わらなければ意味が無い…意思が形成されたら次は意思の表出支援も…。

毎日毎日サービス等利用計画の作成に追われているが、私達の作成したプランは本当に彼ら・彼女らの意思を反映できているのだろうか…その意思は丁寧な意思決定支援を提供した上での意思なのであるだろうか…。日々相談支援部の中ではそんな会話が現在は飛び交っています…。

今年度やっと三富福祉会でも放課後等デイサービスを立ち上げますが、現在放課後等デイサービスの在り方が新聞の紙面を賑わせています。まだまだ試行錯誤の中ですが、とにかく良質な体験・経験を積み重ねる事ができ、子ども達がリラックスできる場を作り上げたいと考えています。

私事です、今年から“山梨パパス絵本読み聞かせプロジェクト”の立ち上げメンバーとなりました。どこか姿を見かけたら、声はかけずに…温かく見守って下さい… 今年度も宜しくお願いします 忍…



社会福祉法人 三富福祉会		
障害者入所支援施設 白樺園	: 0553-39-2714	山梨市三富川浦 2203
サポートセンターハロハロ一番館	: 0553-34-9200	山梨市小原東 1309-1
	ハロハロ二番館 : 0553-23-0346	山梨市東後屋敷 566-5
ワーキング・ベース・プロペラ	: 0553-39-8307	甲州市塩山藤木 1901
ハロハロ相談支援部「からりと」	: 0553-34-9202	【ハロハロ一番館内】